

消防団アンケート概要

◆目的

消防団活動を進める中で、社会経済情勢の変化や少子高齢化による団員数の減少など、消防団を取り巻く環境は大きく変化しており、将来に向けて持続させていくために、消防団活動の現状や課題を把握し、活動内容の見直し・改善を図ることを目的として、消防団員を対象としてアンケート調査を実施した。

◆対象

消防団員 1,092 人(全団員対象)

◆方法

WEB 方式または書面による回答

◆回答期間

令和5年9月 12 日(火)～令和5年9月 25 日(月)

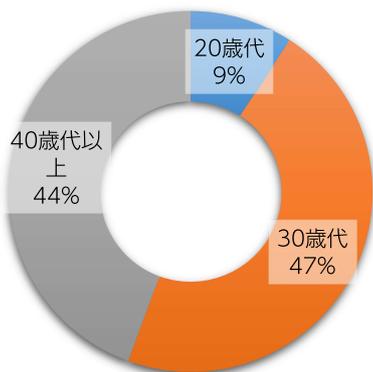
◆回答・報告数

1092 人中 689 人 回収率 63%

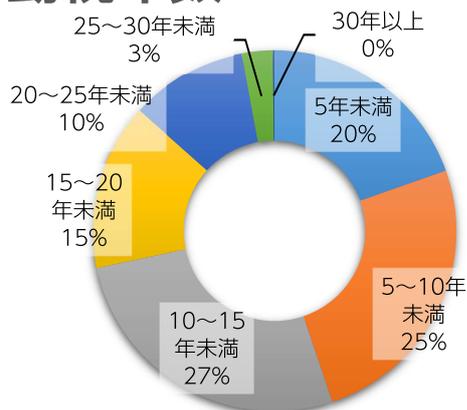
団員の報酬について

年齢・消防団勤務年数

年齢構成



勤続年数

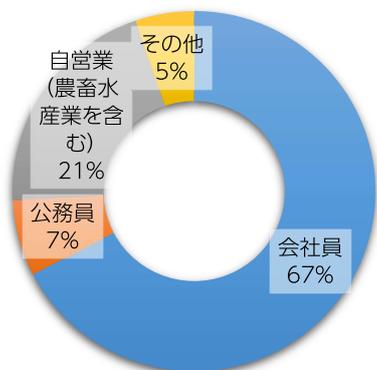


年齢構成は、全国と同様に20代の世代が少ないが、ほぼ30代～40代以上の割合は9割を超える。

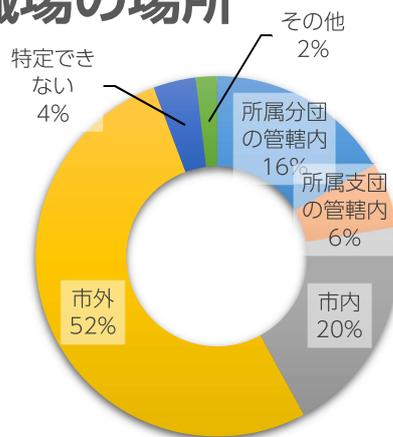
勤続年数は15年以上の団員も約3人にひとりの割合で長期化している。

職業・職場の場所

職業



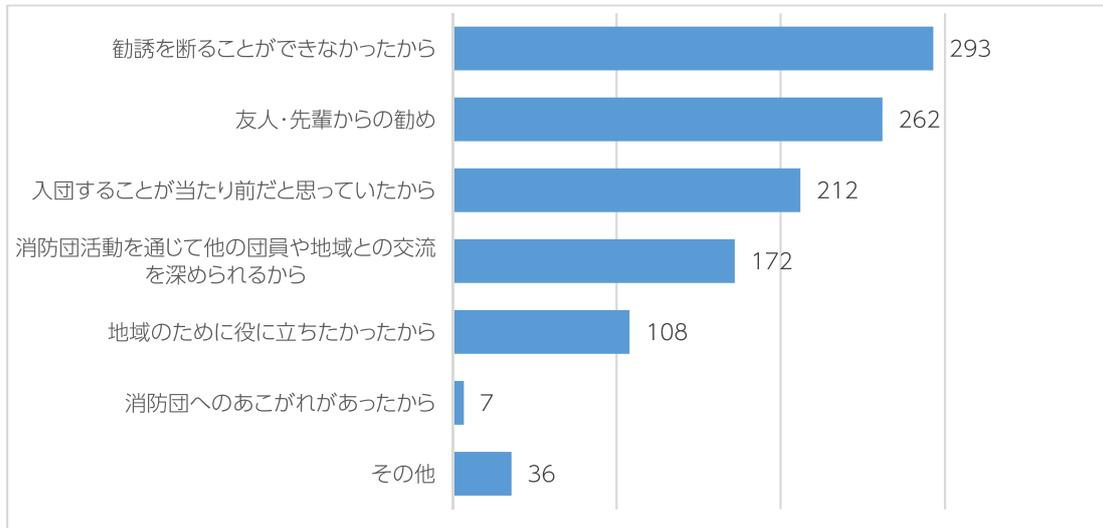
職場の場所



会社員・公務員と合わせて7割を超えている。

また勤め先も半数以上が市外への勤務である。

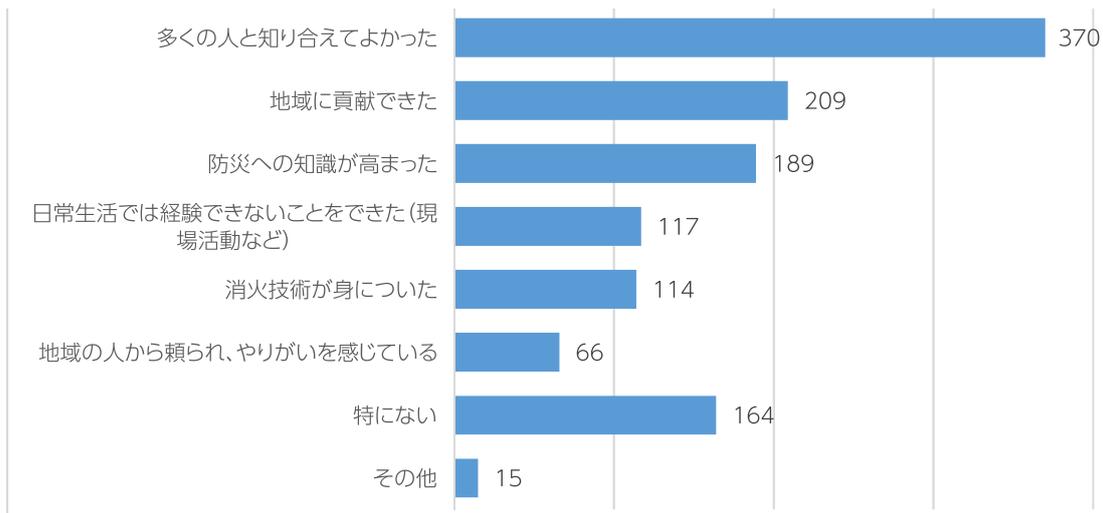
入団を決断した理由(複数回答)



入団に対して、後ろ向きなこともある一方で、入団は当たり前、地元で役に立ちたい等、地元へ貢献したい思いを持つ意見も多い。

その他意見:親が消防団員だったから(親の勧め)等

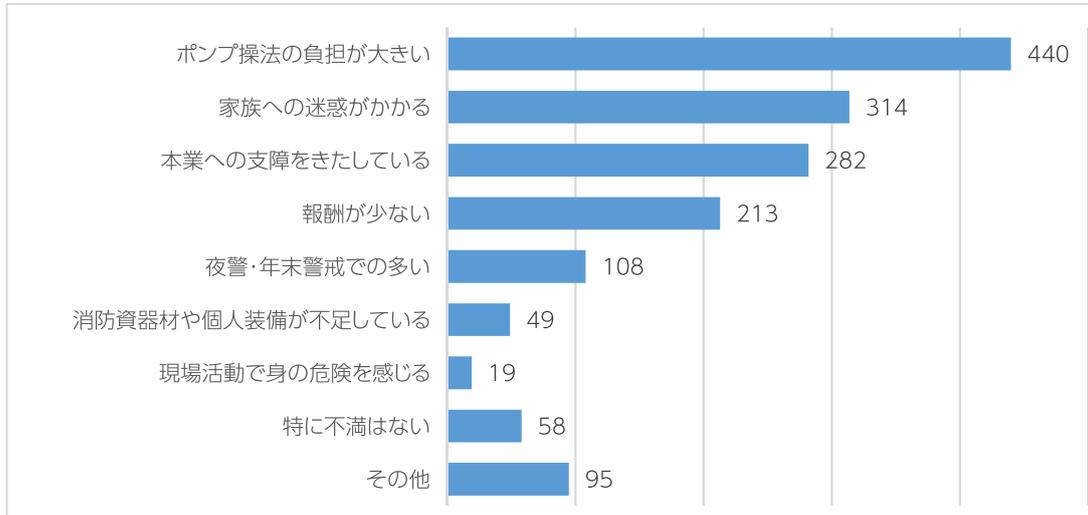
消防団活動を通じてよかったと感じること(複数回答)



交流の場としても良かったとの意見が特に多いほか、防災意識の向上や地元貢献できたこと等、消防団としての意識が高い意見も多くある

その他意見:地元団員との関係性が改善された等

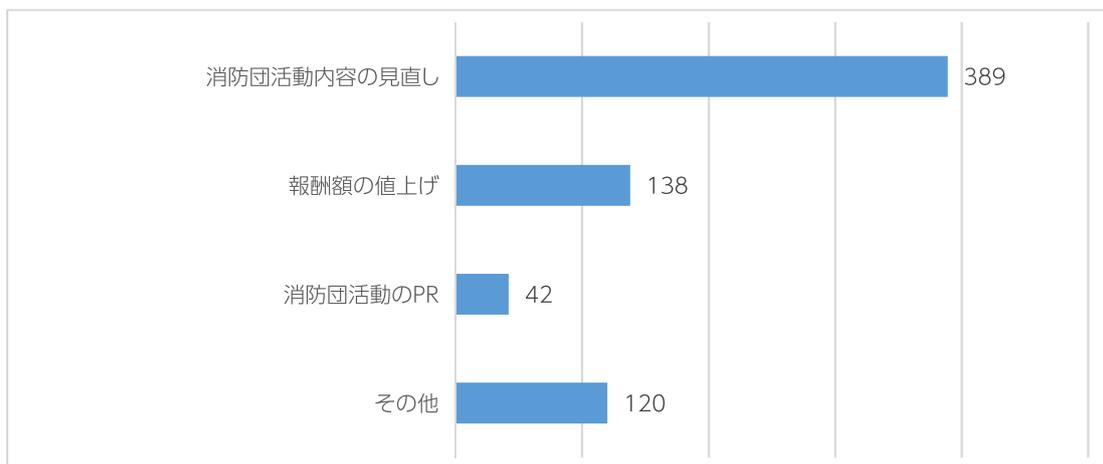
消防団活動を通じて不満に感じることはなんですか。(複数回答)



操法大会などの消防団活動によって負担が多く、家族や仕事に支障をきたしているほかに、報酬が少ないなど処遇に対する意見があった。

その他意見：視察研修の参加強制、酒席が多い等

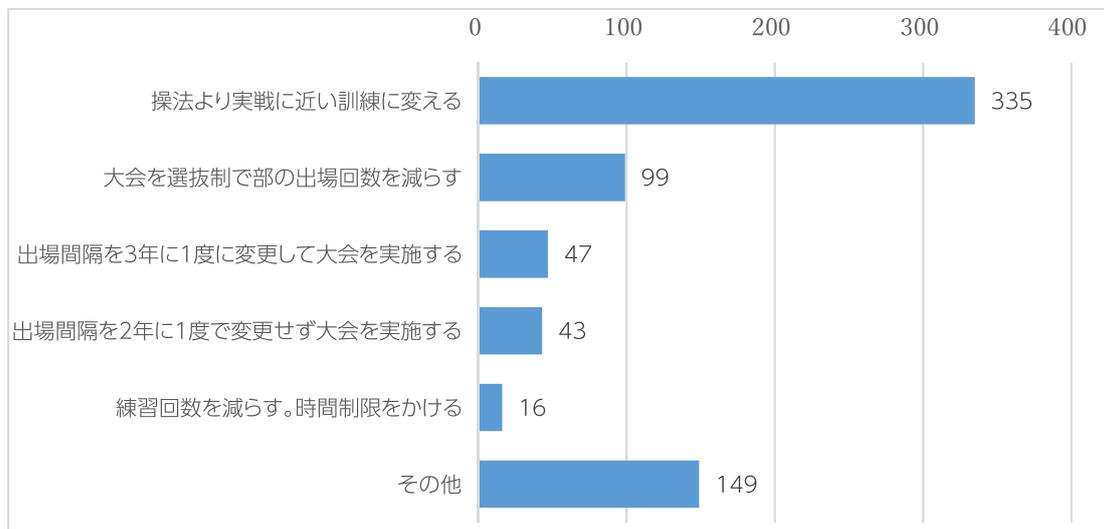
団員不足の解消方法



消防団活動の見直しの意見が最も多い

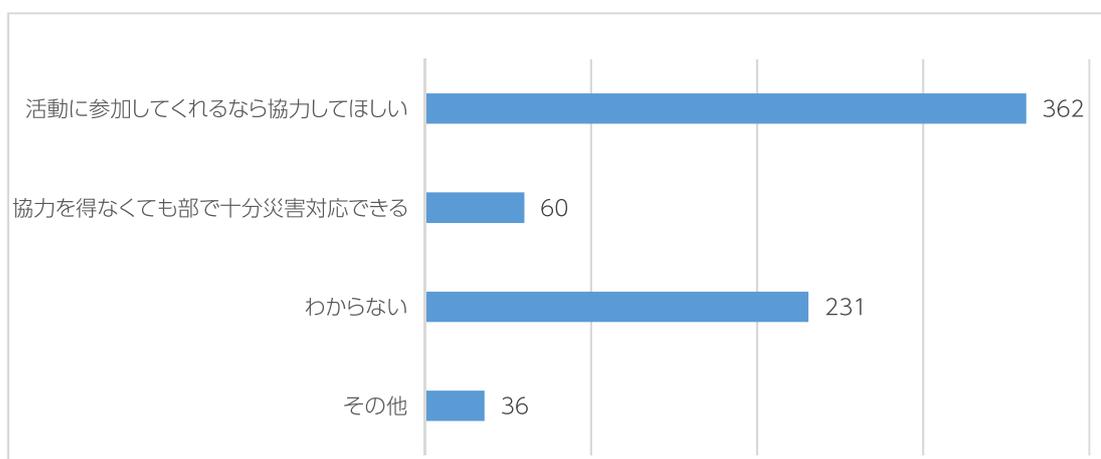
その他意見：操法大会、視察研修の廃止や見直し、団員の待遇の見直し(税制優遇など)、部や分団の統合(1部あたりの団員数増)

消防ポンプ操法大会の今後のあり方



操法より実践的な訓練を望む声が一番多く、全般的に大会に対して消極的な意見が多い
 その他意見：操法大会の廃止に関する意見が特に多く、大会の代わりに中継訓練や夏季訓練と同等の訓練、大会ではなく研修会や講習会の実施、出場希望部のみで参加等

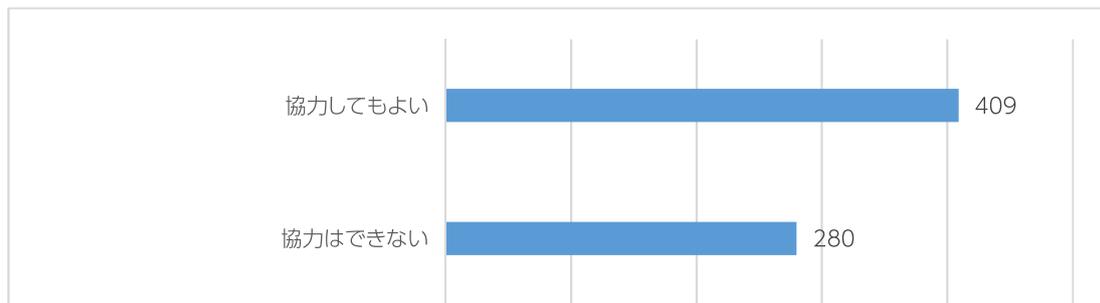
地元団員とOBの災害対応の連携について



OB 団員の協力を望む声が多い一方で、わからないなど意見も多く、機能別消防団についてより具体的な説明必要である。

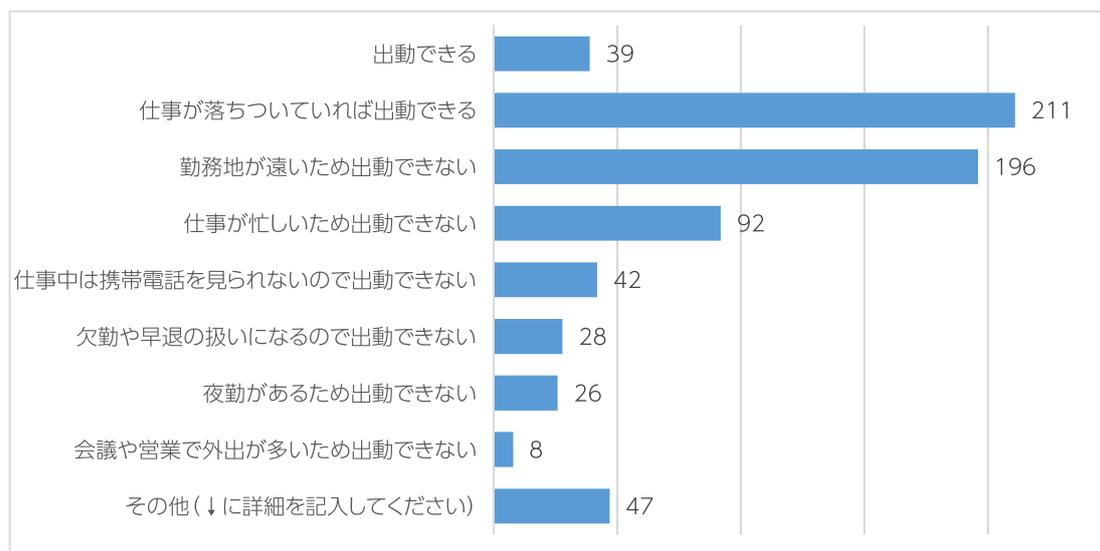
その他意見：既に支援あり(自主的、OB 会)、災害の規模によっては協力必要、OBに限らず、地元の人には協力してほしい等

退団後に機能別消防団員として協力してもよいですか



協力しても良いとの意見が過半数であるが、前の問いにもあるように、機能別消防団の活動についての説明が必要であり、協力しやすい環境整備が必要である。

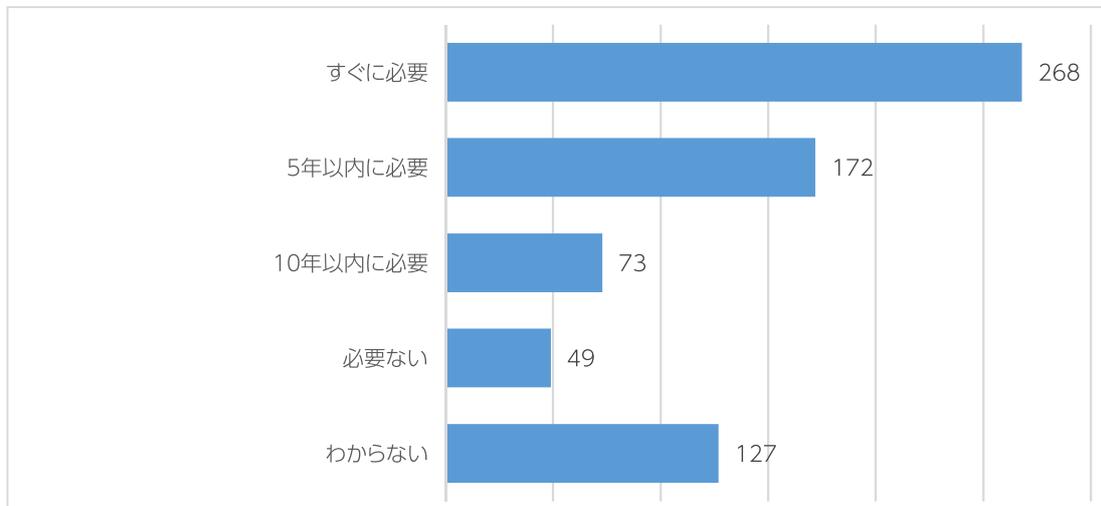
昼間の火災などに出動できますか。



出動可能である答えた方は僅か 39 人で全体の 6%にとどまり、仕事が落ち着いていれば可能と合わせても 250 人で、昼間の出動が困難であることがわかる。

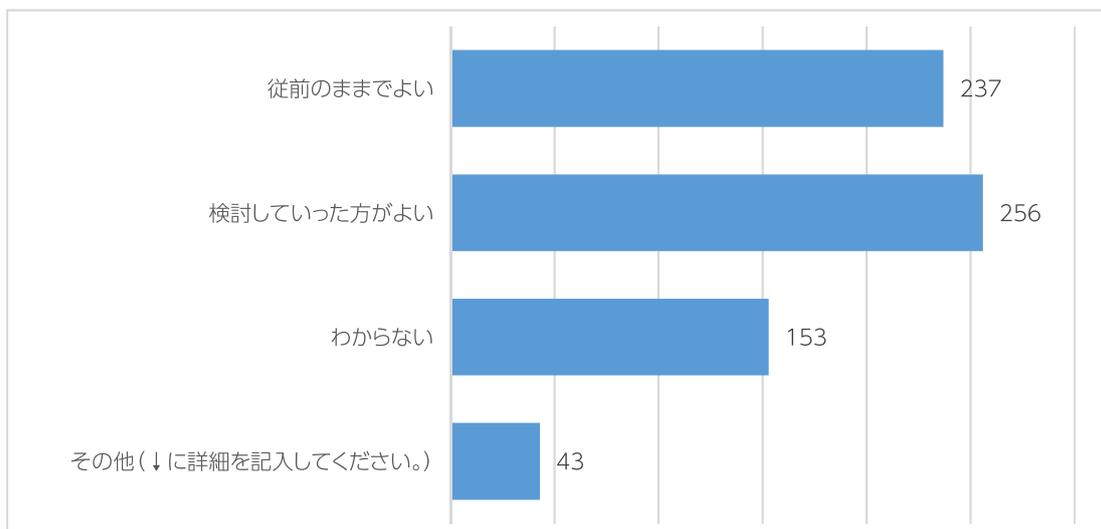
その他意見:その時のタイミングによる(地元にいれば可、仕事が休みなら可)、職場の理解が得られず不可、仕事中は抜けたくない(本業優先、給料に響く、職場に迷惑)等

組織の統合等の組織再編や体制の見直しが必要であるか



組織の統合がすぐに必要である、または5年以内に必要と答えた方が過半数あり、部の統廃合は急務である。

今後、管轄エリアを支団にとらわれず、活動範囲の再考していくことについてどのように感じますか。



従前のままで良い、検討していったほうが良いが概ね同数であり、再考にあたってはより一層の具体的説明が必要である。

その他意見：範囲拡大は反対(団員負担増、到着までの時間ロス、土地勘ない)、範囲縮小は賛成(発災時に団員が集まりすぎる時がある、地元だけに絞る)、工夫必要(拡大時は報酬や手当も増、昼間の活動範囲再編)

消防団に対する意見

(一部抜粋) 回答数 93人

【操法大会に関すること】

操法大会に向けた練習に対して負担が多い。廃止または負担を減らす要望等。

【行事、イベント等の見直し】

無駄を省いて効率的な運営を。日常生活・職場に支障をきたしている。

消防団を地域の方に身近に感じてもらえるような活動の実施。

浸水対策に関する訓練の実施。

【酒席・研修旅行の廃止に関すること】

時間的負担のほかにも金銭的負担がかなり大きい。

【組織に関すること】

部・分団の統合。

任期(定年)制の導入。

【その他】

上下関係(人間関係)が厳しい。

入団者がいないのでやめられない。

行政区と話すきっかけがほしい。

消防団へのイメージが良くない。